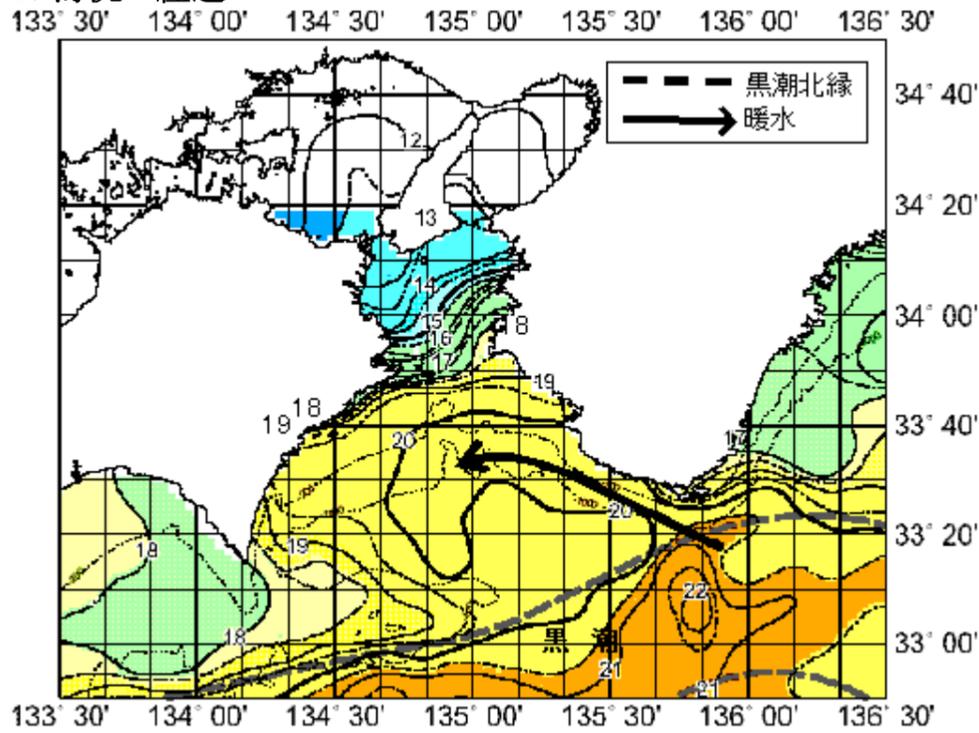


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.1.13)を示した。

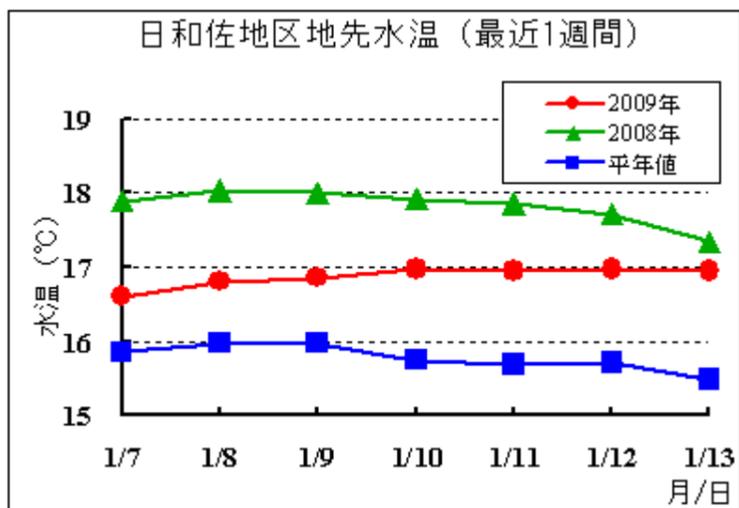
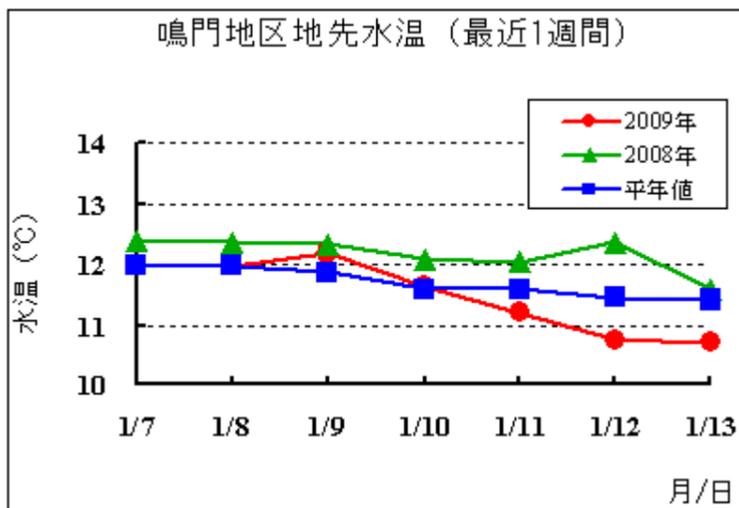
黒潮は、先週に引き続き室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、都井岬沖で離岸傾向を強めている。黒潮本流の表面水温は20～22℃台である。

表面水温は播磨灘が10℃台、紀伊水道が12～18℃台、外域が16～20℃台である。

紀伊水道外域は、和歌山県側から黒潮系の暖水波及を受けている。海部沿岸上灘は、内海系水南下の影響を受け、18℃以下の水温帯に覆われている。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の10.7～12.2℃、日和佐地区は「やや高め」の16.6～17.0℃、牟岐地区は「やや高め」～「かなり高め」の17.1～18.6℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、カワハギが0.4トン(1日1隻当たり42kg)、大主体にサバフグが0.6トン(同21kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、大主体にアオリイカが2.4トン(同32kg)、カタクチイワシが0.8トン(同118kg)、大主体にスズキ類が0.4トン(同48kg)、マメ主体にマアジが0.3トン(同17kg)、マルソウダが0.3トン(同12kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.2トン(同18kg)、小主体にゴマサバが0.3トン(同25kg)、小主体にシイラが0.3トン(同38kg)、大主体にスルメイカが0.4トン(同56kg)、大主体にトビウオ類が0.4トン(同20kg)、小主体にマアジが0.7トン(同45kg)、マルソウダが1.1トン(同70kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大・中主体にアオリイカが1.8トン(同10kg)、中主体にカツオが1.3トン(同95kg)、タチウオが0.3トン(同27kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 1月5日～1月11日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カワハギ	10	422	42	
		サバフグ	31	645	21	大主体
小型定置網		アオリイカ	75	2,437	32	大主体
		カタクチイワシ	7	823	118	
		スズキ類	8	383	48	大主体
		マアジ	15	260	17	マメ主体
		マルソウダ	25	304	12	
		アオリイカ	12	210	18	大主体
大型定置網		ゴマサバ	11	272	25	小主体
		シイラ	8	301	38	小主体
		スルメイカ	8	446	56	大主体
		トビウオ類	18	351	20	大主体
		マアジ	15	674	45	小主体
		マルソウダ	16	1,118	70	
釣り		アオリイカ	174	1,764	10	大・中主体
		カツオ	14	1,327	95	中主体
		タチウオ	10	271	27	

週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸、潮岬で接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや低め」の10℃台、日和佐地先で「平年並み」の16℃台で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上